



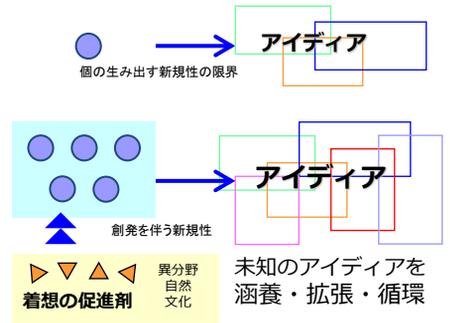
見知らぬ「モノ」を日常へ： 創造的思考の涵養を目指したミュージアム機能の遍在化

【キーワード】

創発性	モバイルミュージアム	文化	空間展示	オープンスペース
-----	------------	----	------	----------

■ 概要

・創造的な成果は、1人で考えるよりも、他者との連携によって突然生み出されることがある。このような創発性は、必ずしも人対人に限らず、環境に散りばめられた視覚的な情報によって誘発されることもある。本発表では、学術知の担保となった「モノ＝標本」を日常に遍在化させ、探究心や知的好奇心を触発するとともに、創造的思考を涵養するためのアイデアを紹介する。



■ 詳細

・「着想の促進剤」を身近に展開することで創発を起こしやすい社会をつくる
創発の産物ともいえる科学研究。そこに関与した「モノ」をスポット展示として社会空間に散りばめる。



新潟ビルボードプレイス Stone World
上野マリイ 時計メーカーFossil



製品の情報
東名高速道路清水SA 光岡自動車



学術知の発信
新潟マリニピア ラッコの解説



ゼンケンベルグ博物館 ヒトの進化
ゲッティンゲン大学 マンモスの歯

○ 想定される実施例、応用例

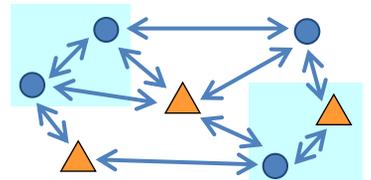
- ・スポット展示の内容
学術知の源泉となる「モノ」
資料、標本、科学機器類
- ・設置の対象となる空間
エントランス、ショーウィンドウ
オフィス等の社会・生活空間

化石標本のスポット展示例



○ 予想される効果と展望

- ・着想の促進剤を身近に展開
- ・多様な学術知の公開



モノと社会
未知なる接点を創出

長期的な創発性の向上

本技術の問い合わせ先

新潟大学 地域創生推進機構

TEL:025-262-7554 FAX:025-262-7513 E-mail:onestop@adm.niigata-u.ac.jp